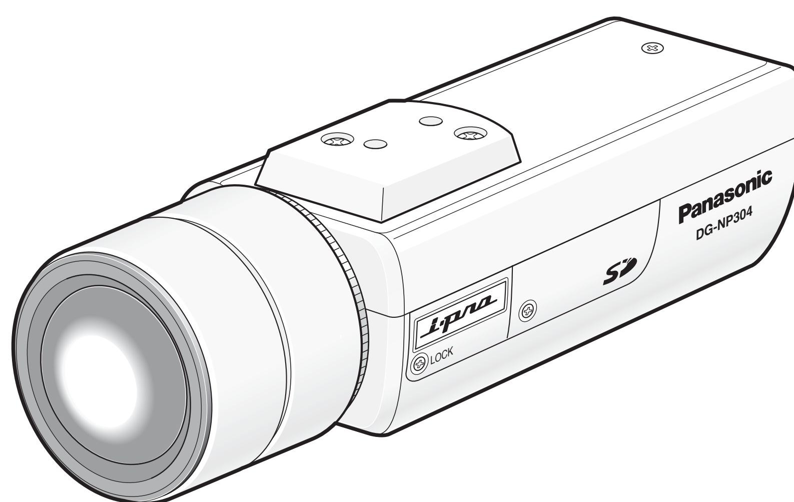
Panasonic®

取扱説明書　操作編

ネットワークカメラ

品番　DG-NP304,DG-NP304V



（イラストはDG-NP304Vです）



はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書（PDFファイル）、設定編（PDFファイル）と基本編の3部構成になっています。
本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピューター（以下、PC）から本機を操作する方法について説明しています。

- DG-NP304　：レンズ別売り
- DG-NP304V ：メガピクセルカメラ対応2倍バリフォーカルレンズ付き

本機の設置のしかたおよびネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書　基本編をお読みください。
PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe Reader日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe Reader日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

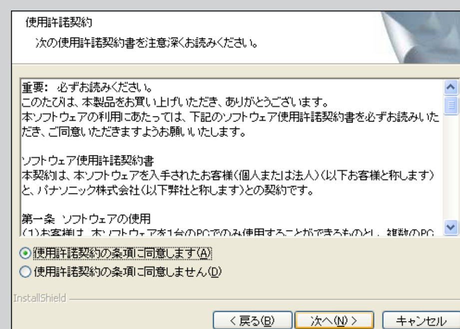
- Microsoft、Windows、Windows Vista、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「i-mode」ロゴおよび「iモード」は、NTTドコモの登録商標または商標です。
- SDロゴは商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

表示用プラグインソフトウェアについて

- 本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROM内の「nwcv3setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

- お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」が「許可する」に設定されています。情報バーにメッセージが表示される場合は、『設定編』をお読みください。
- 最初にPCから本機のライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。



- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、設定メニューの［バージョンアップ］タブで確認できます（→『設定編』）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

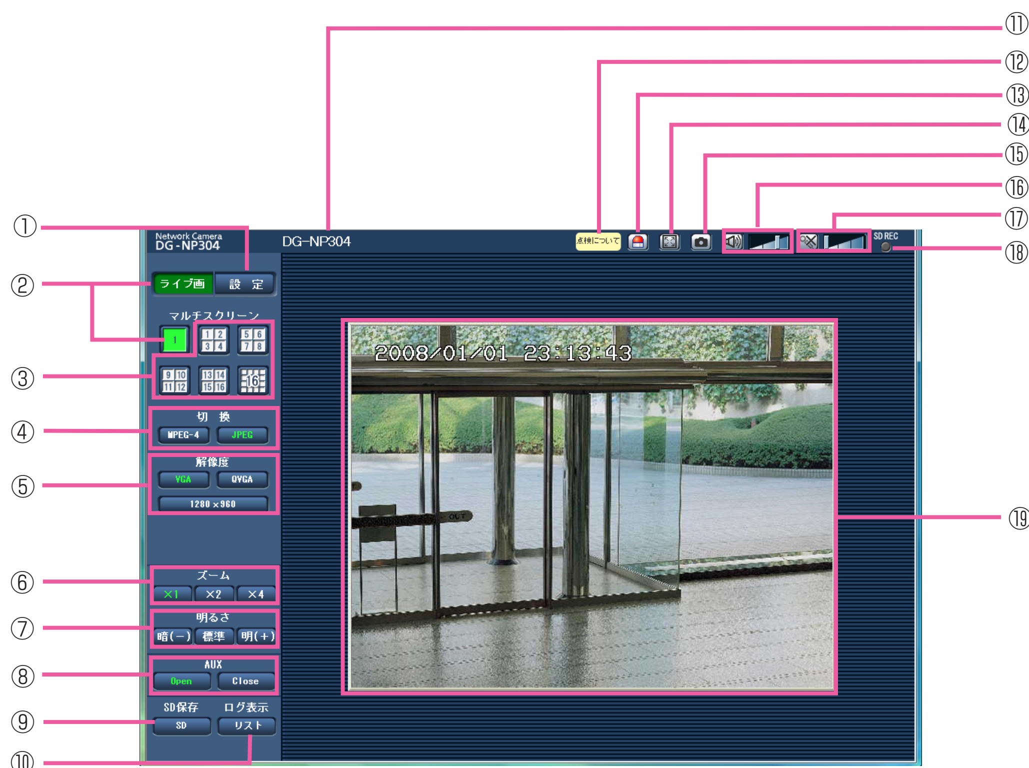
もくじ

PCから画像を見る

ここでは、PCから本機の画像を見る方法を説明します。

ライブ画ページについて

ライブ画ページの各ボタンは、以下の通りです。



(下線部は初期設定です)　　(1/3)

項番	項目		内容
①	[設定] ボタン※1		ボタンが緑色に変わり、設定メニューを表示します。
②	[ライブ画] ボタン		ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページを表示します。
③	[マルチスクリーン] ボタン		設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。(→9ページ)
④	切換		MPEG-4画像とJPEG画像の表示を切り換えます。
		[MPEG-4] ボタン	ボタンが緑色に変わり、MPEG-4画像を表示します。設定メニューで「MPEG-4配信」を「Off」に設定した場合は、ボタンは表示されません(→『設定編』)。
		[JPEG] ボタン	ボタンが緑色に変わり、JPEG画像を表示します。
⑤	解像度		JPEG画像を表示している場合の解像度を切り換えます。 切換④で [JPEG] に設定したときのみボタンが表示されます。
		[VGA] ボタン	ボタンが緑色に変わり、メインエリアの画像をVGAサイズで表示します。
		[QVGA] ボタン	ボタンが緑色に変わり、メインエリアの画像をQVGAサイズで表示します。
		[1 280×960] ボタン	ボタンが緑色に変わり、メインエリアの画像を1 280×960サイズで表示します。ただし、ご使用のウェブブラウザー画面の大きさにより縮小される場合があります。

(2/3)

項番	項目		内容
⑥	ズーム		画像のズームを調節します。
		[×1］ボタン	ボタンが緑色に変わり、メインエリアの画像をズーム（倍率）1倍で表示します。
		[×2］ボタン	ボタンが緑色に変わり、メインエリアの画像をズーム（倍率）2倍で表示します。
		[×4］ボタン	ボタンが緑色に変わり、メインエリアの画像をズーム（倍率）4倍で表示します。
⑦	明るさ※2		画像の明るさを調節します。
		[暗（−)］ボタン	画像が暗くなります。
		[標準］ボタン	標準の明るさに戻ります。
		[明（+)］ボタン	画像が明るくなります。
⑧	AUX※2		AUX端子の状態を設定します。
		[Open］ボタン	ボタンが緑色に変わり、AUX端子がOpen状態になります。
		[Close］ボタン	ボタンが緑色に変わり、AUX端子がClose状態になります。
⑨	[SD］ボタン※2		設定メニューで「保存モード」を「手動保存」に設定している場合のみボタンを表示します（→『設定編』)。ボタンをクリックすると、手動でSDメモリーカードに画像を保存できます（→『設定編』)。
⑩	[リスト］ボタン※1		設定メニューで「ログ保存」を「On」に設定している場合のみボタンを表示します（→『設定編』)。ボタンをクリックすると、ログリストが表示され、SDメモリーカードに保存されている画像を再生できます（→18ページ)。
⑪	カメラタイトル		設定メニューの［基本］タブの「カメラタイトル」で設定した名称を表示します（→『設定編』)。
⑫	経過年数警告表示ボタン		本機の点検時期を、製造してからの経過年数に応じて点滅表示でお知らせします。 6年目　　　：ボタンをクリックすると、消灯します。 11年目以降 ：ボタンをクリックすると、点灯表示に変わります。
⑬	アラーム発生通知ボタン※2		アラームが発生すると点滅表示します。ボタンをクリックすると表示が消え、アラーム出力端子がリセットされます（→『設定編』)。
⑭	全画面表示ボタン		画像を全画面で表示します。ライブ画ページに戻るときは、PCのキーボードの［Esc］キーを押します。
⑮	ワンショットボタン		ワンショット（静止画1枚）を別ウインドウで表示します。画像上で右クリックし、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。 「Print」を選択すると、プリンタ出力できます。
⑯	受話ボタン※3		受話音声（PCで聞く）のOn／Offを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「受話」または「双方向（全二重)」「双方向（半二重)」に設定している場合にのみ表示します（→『設定編』)。 ボタンをクリックすると、表示が に切り換わり、本機からの音声がPCで聞こえなくなります。 音量カーソル を移動すると受話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。

（3/3）

項番	項目	内容
⑰	送話ボタン※3	送話音声（PCから話す）のOn／Offを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「送話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます（→『設定編』）。 送話中は点滅表示します。 ボタンをクリックすると、表示が に切り換わり、PCからの音声が本機で聞こえなくなります。 音量カーソル を移動すると送話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。 **メモ** ● 1人のユーザーが送話中の間、「双方向（半二重）」に設定している場合は、他のユーザーの受話は停止状態になり、受話ボタン、送話ボタンの操作ができなくなります。「双方向（全二重）」に設定している場合は、他のユーザーは、送話ボタンの操作ができなくなります。 ● 1回の送話時間は最大で5分間です。再度、送話を行う場合は、［送話］ボタンをクリックしてください。 ● 音量カーソルで変更した受話音量／送話音量は、本機を再起動すると設定メニューの［音声］タブで設定されている受話音量／送話音量に戻ります（→『設定編』）。 ● 画面上では音量カーソルをそれぞれの音量の中間位置に移動させることができますが、実際には3段階のいずれかの音量に設定されます。
⑱	SD保存状態表示	SDメモリーカードへの保存状態を表示します。 保存が開始されると、SD保存状態表示が赤点灯します。保存が停止すると消灯します。 この表示は、設定メニューで、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ表示されます（→『設定編』）。
⑲	メインエリア	カメラの画像を表示します。画像上には、設定した時刻表示形式と日付表示位置（→『設定編』）に従って現在の日付時刻が表示されます。 ズーム（倍率）が2倍、4倍のとき、ライブ画ページのメインエリア内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心とする画像に切り換わります。

※1　アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。
※2　「ユーザー認証」が「On」に設定（→『設定編』）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
※3　「音声許可レベル」で設定したレベルのユーザーのみ操作できます（→『設定編』）。
アクセスレベルについて詳しくは、『設定編』をお読みください。

メモ

- アクセスレベルが低いユーザーが操作すると、一時的に画面上の表示が変わる場合がありますが、カメラの動作には影響ありません。

1台のカメラの画像を見る

1　PCのウェブブラウザーを起動する

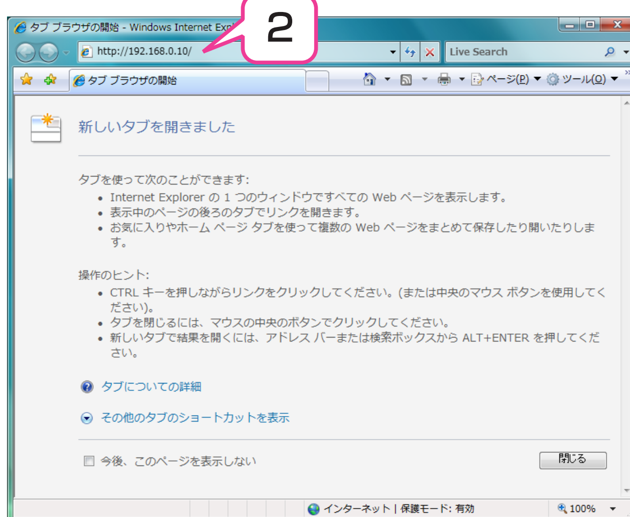
2　IP簡単設定ソフトで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力する

IPv4アクセス例：http://192.168.0.10/
IPv6アクセス例：http://[IPv6アドレス]/

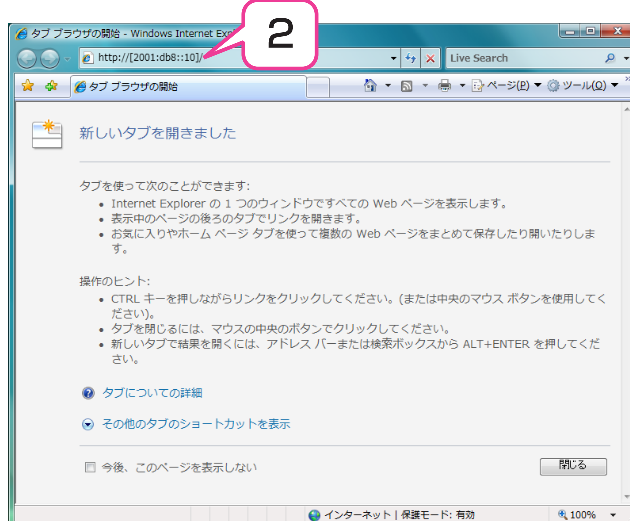
メモ

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、インターネットオプションからプロキシサーバーの設定を行ってください。

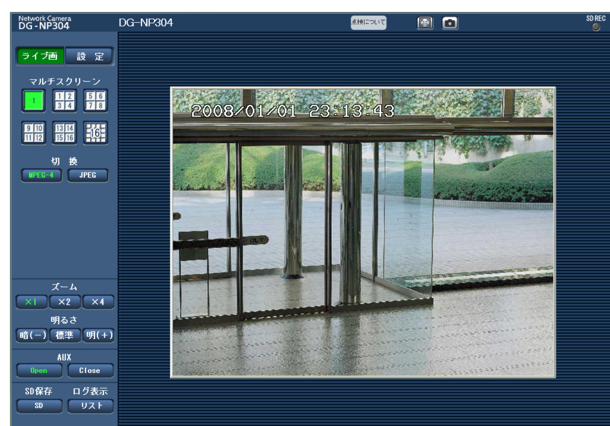
●IPv4アクセス例



●IPv6アクセス例







ライブ画ページが表示されます。
ユーザー認証を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。
お買い上げ時は、ユーザー名：admin、パスワード：12345に設定されています。

重要

- セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してご使用ください。
- 1台のPCで複数のMPEG-4画像を表示させようとした場合、PCの性能により、画像が表示できない場合があります。

メモ

- 本機へ同時にアクセスできるユーザーはMPEG-4画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大16人までです。ただし、「合計ビットレート」、「1クライアントあたりのビットレート」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が16人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。なお、「配信方式」を「マルチキャスト」に設定（→『設定編』）したとき、MPEG-4画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「MPEG-4配信」を「On」に設定（→『設定編』）するとMPEG-4画像が表示され、「Off」に設定するとJPEG画像が表示されます。「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示が可能ですが、画像更新速度が制限されます。
  MPEG-4画像は、JPEG画像を同時にご使用の場合は画像更新速度は15 fpsに制限されます。「MPEG-4配信」の「1クライアントあたりのビットレート」でフレームレート優先のビットレートを選択している場合であっても、15 fpsに制限されます。
  JPEG画像の更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

JPEG画像更新速度

MPEG-4配信「ON」の場合		MPEG-4配信「OFF」の場合	
JPEG（VGA）	：15 fps	JPEG（VGA）	：30 fps
JPEG（QVGA）	：15 fps	JPEG（QVGA）	：30 fps
JPEG（1 280×960）	：　5 fps	JPEG（1 280×960）	：11 fps

複数台のカメラの画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台（最大16台）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。カメラ4台を1つのグループとして設定し、合計16台（4グループ）まで設定できます（→『設定編』）。

重要

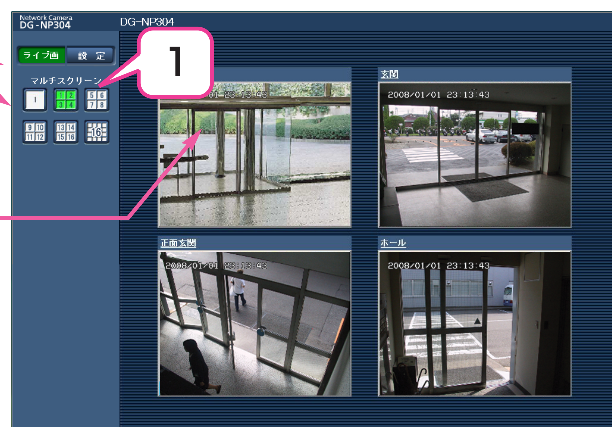
- 1度に16台のカメラの画像を表示するマルチスクリーンでは、パン・チルト・ズーム操作はできません。
- 1度に4台のカメラの画像を表示するマルチスクリーンでは、プリセットコンビネーションネットワークカメラ等の、パン・チルト・ズーム操作ができます。
- マルチスクリーンで表示される画像はJPEGのみです。音声は出力されません。
- 本機の電源を切った場合や本機のネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画ページからマルチスクリーンに移動することはできません。

1 **［マルチスクリーン］ボタンをクリックする**

- カメラの画像が4画面（最大16画面）で表示されます。右画面は4画面の場合です。

1画面表示にする場合は、［ライブ画］ボタンをクリックします。

カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画ページが別ウインドウで表示されます。



iモード端末から画像を見る

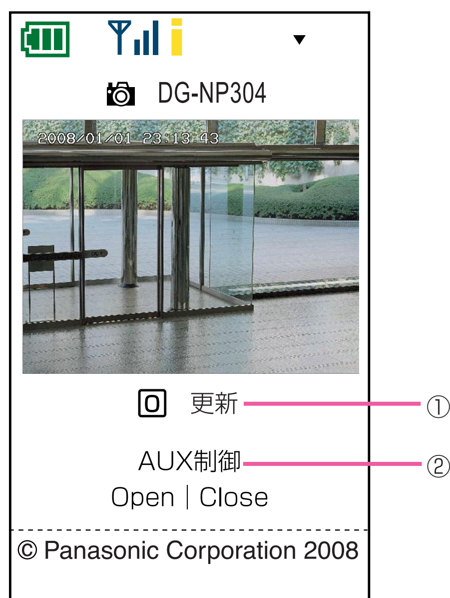
iモード端末からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。最新画像に更新したり、AUX制御を行うことができます。iモード端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です（→『設定編』）。

重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してご使用ください。
- お買い上げ時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345

1 iモード端末で「http://本機のIPアドレス/i/」または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i/」を入力し、決定ボタンをクリックする

- 本機の画像が表示されます。



メモ

- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号/i/」を入力して、本機のポート番号を指定してください。
- DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i/」を入力してください。
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。iモード端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 「ユーザー認証」が「Off」の場合、ユーザー名は「admin」のみ有効です。パスワードは設定したパスワードを入力してください。
- iモード端末からは、音声の受話／送話はできません。
- iモード端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG設定」の「画質」（→『設定編』）を低画質に近づけると表示されることがあります。
- お使いのiモード端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

iモード端末から画像を見る（つづき）

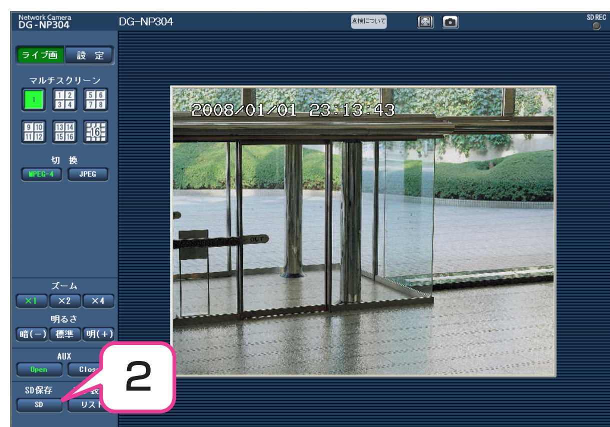
項番	項目		内容
①	更新		［0］ボタンを押すか［0 更新］にカーソルを移動して決定ボタンを押します。 →最新の画像が表示されます。
②	AUX制御※		AUX端子の状態を切り換えます。 Open／Closeにカーソルを移動して決定ボタンを押します。 **メモ** ●iモード端末では、設定メニューの［アラーム］タブで変更したAUX名称は反映されません。
		Open	「Open」の文字が赤色に変わり、AUX端子をOpen状態にします。
		Close	「Close」の文字が赤色に変わり、AUX端子をClose状態にします。

※　「ユーザー認証」が「On」に設定（→『設定編』）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
アクセスレベルについて詳しくは、『設定編』をお読みください。

SDメモリーカードに画像を保存する

ライブ画ページの画像を手動でSDメモリーカードに保存します。
設定メニューで、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ操作できます。（→『設定編』）
SDメモリーカード内の画像は、PCに保存して見ることができます。（→『設定編』）

1　ライブ画ページを表示する（→7ページ）



2　［SD］ボタンをクリックする

- SDメモリーカード保存画面が別ウインドウで表示されます。



3　［開始］ボタンをクリックし、SDメモリーカードへの保存を開始する

- 保存中はSD保存状態表示が赤点灯します。
- 保存間隔の設定は、設定メニューの［SDメモリーカード］タブで行います（→『設定編』）。

4　［停止］ボタンをクリックする

- SDメモリーカードへの保存を停止します。

5　［閉じる］ボタンをクリックする

- 画面が閉じます。

アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従ってアラーム動作を行います。各アラームの設定方法について詳しくは、『設定編』をお読みください。

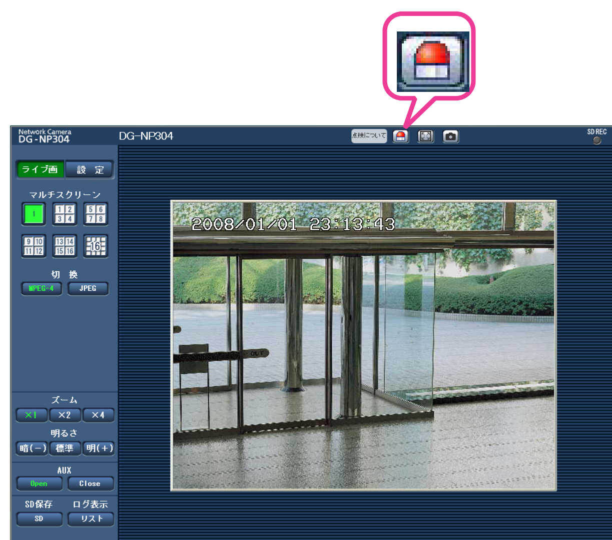
アラームの種類について

● 端子アラーム	：外部I/O端子にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
● VMDアラーム	：設定したエリアの画像に変化（動き）が生じたときに、アラーム動作を行います。 ※VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能
● コマンドアラーム	：ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。

アラーム発生時の動作について

● **ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタンを表示する**（→『設定編』）

アラームが発生すると、ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。



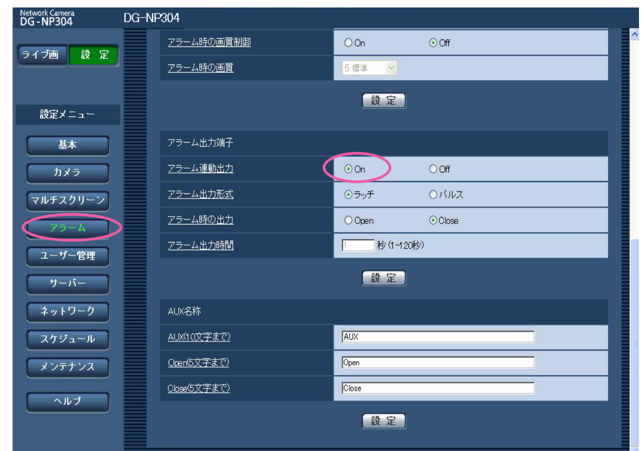
重要

- 「状態通知間隔」を「定期（30 s）」に設定した場合、［アラーム発生通知］ボタンは、30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。（→『設定編』）

アラーム発生時の動作について（つづき）

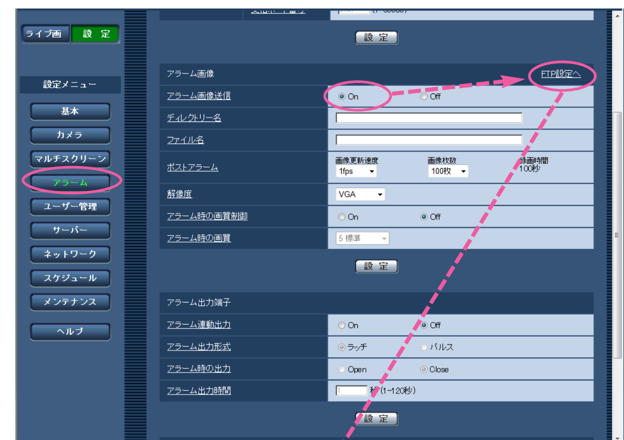
●アラーム出力端子に接続された機器にアラームを通知する（→『設定編』）

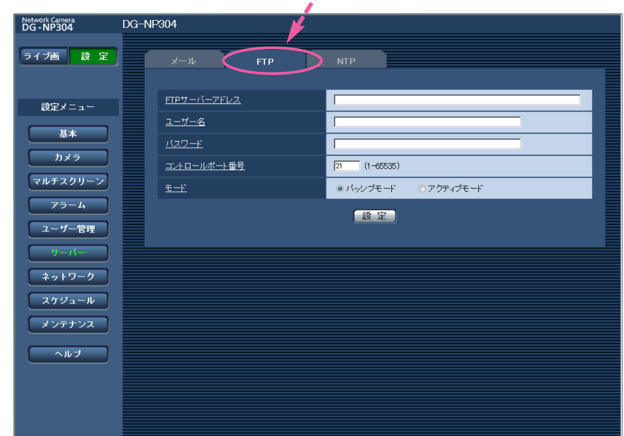
アラームが発生すると、アラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号出力の設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います（→『設定編』）。



●画像を自動的にサーバーへ送信する（→『設定編』）

アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像を送信します。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの［アラーム］タブ、サーバーページの［FTP］タブで行います（→『設定編』）。



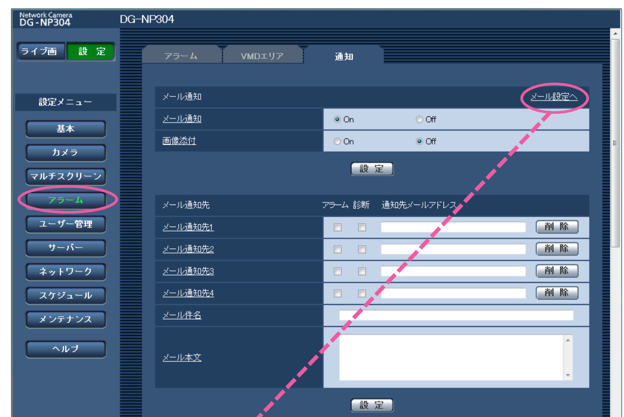


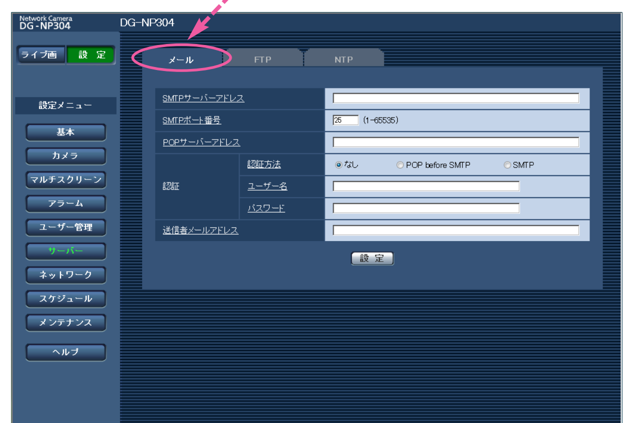
重要

- SDメモリーカードを使用する場合、［SDメモリーカード］タブの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。「アラーム発生時」または「手動保存」に設定すると、アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信することができません。

● **Eメールでアラーム発生を通知する**（→『設定編』）

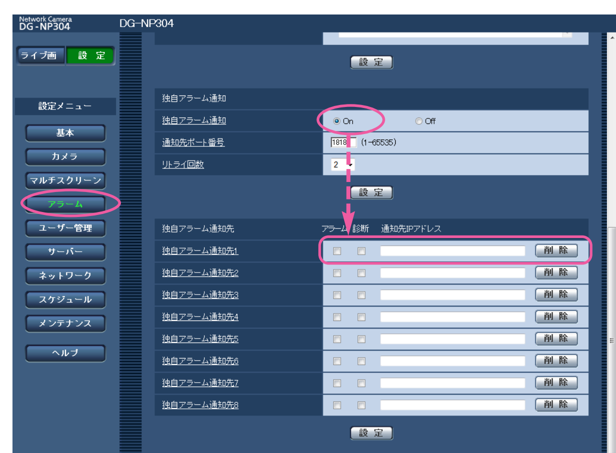
アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラームメール）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。送信先は4件まで登録することができます。また、アラームメール送信時に静止画像を1枚添付して送信することもできます。アラームメールの設定は、アラームページの［通知］タブ、サーバーページの［メール］タブで行います（→『設定編』）。





● **指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム）**（→『設定編』）

この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）をご使用の場合に有効な機能です。独自アラーム通知を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの［通知］タブで行います（→『設定編』）。



FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーへ接続し画像を送信します。以下の内容を設定すると、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要

- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください（→『設定編』）。
- FTPサーバーに画像を送信する場合、基本ページの［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」、または、「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください（→『設定編』）。

アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

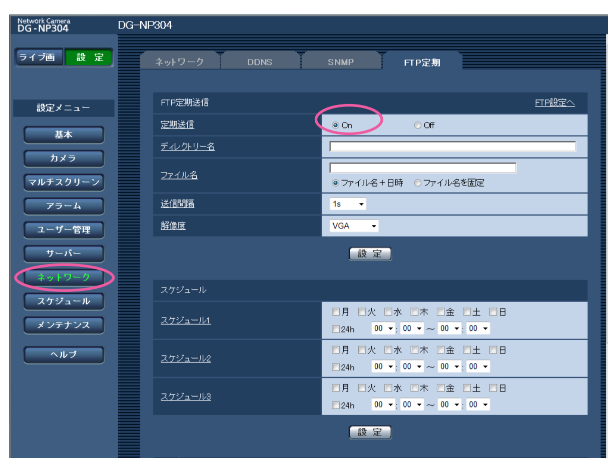
アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム発生時の画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。
FTPサーバーは、サーバーページの［FTP］タブで設定します（→『設定編』）。
アラーム画像送信、送信画像に関しては、アラームページの［アラーム］タブで設定します（→『設定編』）。

メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。

指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。
送信先のFTPサーバーは、サーバーページの［FTP］タブで設定します（→『設定編』）。
定期送信、スケジュールに関しては、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定します（→『設定編』）。



メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存できます。SDメモリーカード内の画像の保存方法は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで設定します（→『設定編』）。

プルダウンメニューから「FTP定期送信エラー時」を選択する



メモ

- 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使用する場合は、「定期送信」を「Off」（→『設定編』）、SDメモリーカードの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」（→『設定編』）に設定してください。
- SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因に関わらず保証いたしかねます。

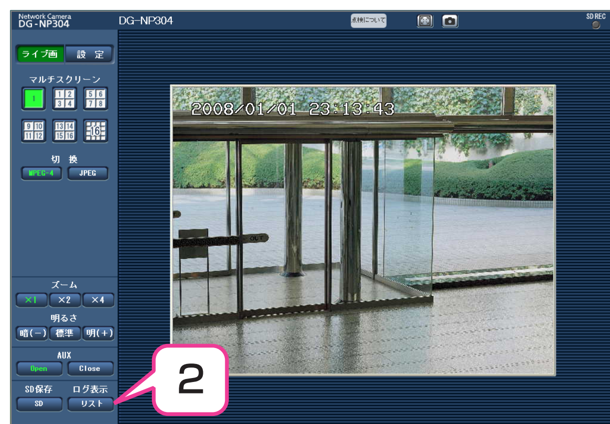
ログリストを表示する

アラームログリスト、手動保存ログリスト、FTP定期送信エラーログリストを確認できます。

- アラームログリスト　：アラームの発生日時と要因を確認できます。
- 手動保存ログリスト　：手動でSDメモリーカードへ画像を保存したときのログを確認できます。
- FTP定期送信エラーログリスト　：FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。

設定メニューの［ログ］タブ（→『設定編』）で「保存」が「On」に設定されている場合にのみログリストを保存します。

1　ライブ画ページを表示する（→7ページ）



2　［リスト］ボタンをクリックする

- ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。

重要

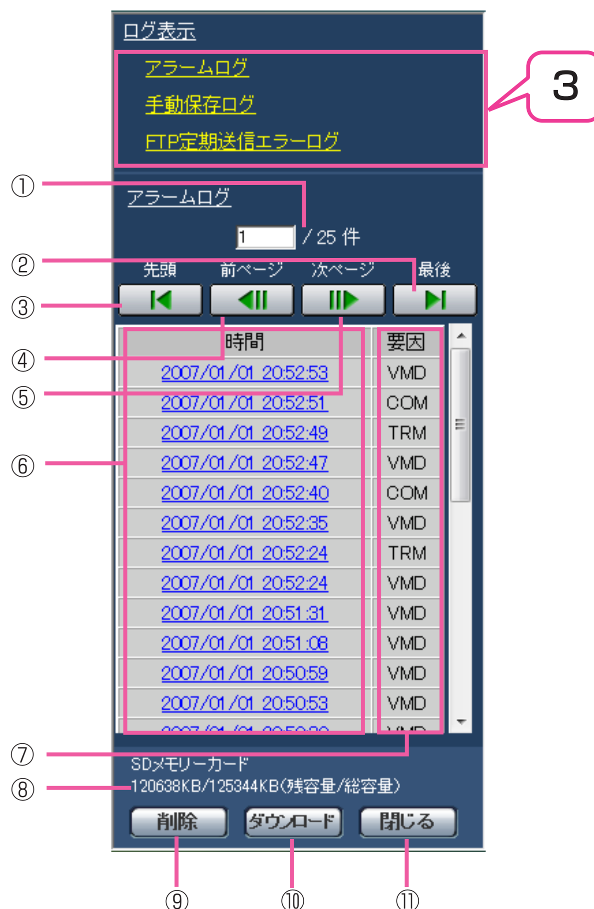
- ログリスト表示画面に、複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

3　「ログ表示」から表示するログリストをクリックする

- 選択したログリストが表示されます。

メモ

- SDメモリーカードに画像が保存されている場合は、時間をクリックすると画像を表示できます。（→21ページ）



（1/2）

項番	項目	内容
①	リスト件数	リストアップされたログの総件数と現在先頭に表示されているログの番号が表示されます。 **メモ** ●表示したいログの番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押すと、指定した番号のログが画面の1番上に表示されます。
②	［最後］ボタン	最後のログが表示されます。
③	［先頭］ボタン	先頭のログが表示されます。
④	［前ページ］ボタン	前のページのログリストが表示されます。 **メモ** ●ボタンを長押しすると、件数の数値がカウントダウンされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。
⑤	［次ページ］ボタン	次のページのログリストが表示されます。 **メモ** ●ボタンを長押しすると、件数の数値がカウントアップされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。
⑥	［時間］	ログが記録された時刻が表示されます。 **メモ** ●「時刻表示形式」（→『設定編』）を「Off」に設定した場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。 ●ログが記録されるタイミングは以下のようになります。 ●アラームログ：アラームが発生した時点でその日時が記録されます。 ●手動保存ログ：手動でSDメモリーカードへの保存を開始した時点でその時間が記録されます。連続して保存を行っている場合は、1時間単位で記録されます。 ●FTP定期送信エラーログ：1時間単位で定期的に記録されます。
⑦	［要因］	アラームが発生した原因が表示されます。アラームログリストの場合のみ表示されます。 TRM　：端子アラームによるアラーム VMD　：VMDアラームによるアラーム COM　：コマンドアラームによるアラーム
⑧	［SDメモリーカード］	SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。表示される内容は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」と同じです（→『設定編』）。

（2/2）

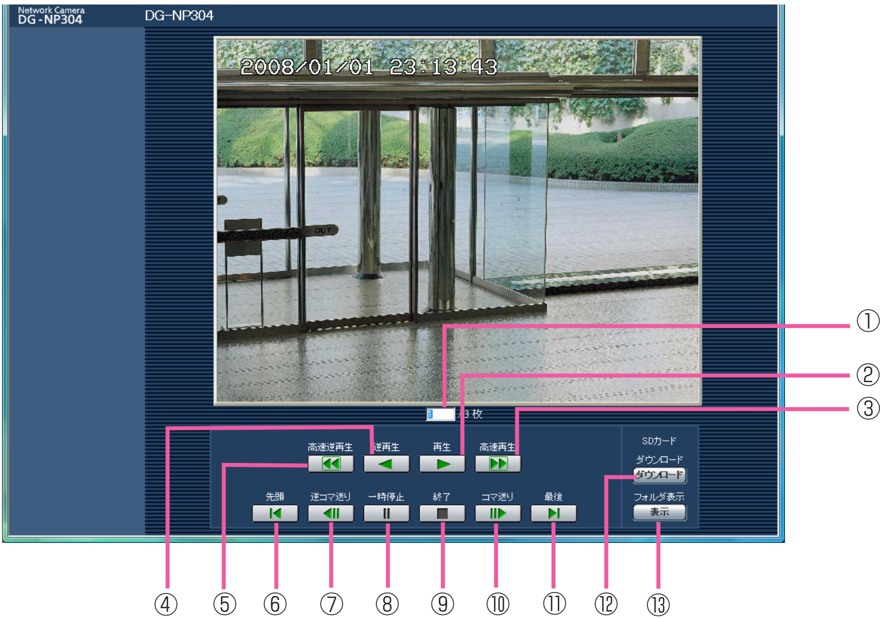
項番	項目	内容
⑨	［削除］ボタン	表示されているログリストを削除します。SDメモリーカードを使用している場合、ログリストに関連づけされている画像も削除されます。 **重要** ● SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、削除完了までに時間がかかります。 ● 削除が完了するまで新たな画像は保存されません。ログのみ保存されます。 ● 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードに画像が残ったままになることがあります。再度、削除操作を行ったログリストの画面で［削除］ボタンをクリックしてください。
⑩	［ダウンロード］ボタン	表示されているログリストの総件数分を1つのファイルとしてPCにダウンロードできます。
⑪	［閉じる］ボタン	ログリスト表示画面を閉じます。

SDメモリーカードの保存画像を再生する

ログリスト表示画面で時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。クリックした時間の画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択した時間の先頭の画像が表示されます。

重要

- 画像の再生中やダウンロード中は、画像更新速度が遅くなることがあります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、再生画面に画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の解像度がQVGAおよび1 280×960の場合でも、再生画面ではVGAサイズで表示されます。そのため、再生画面では粗く見える場合があります。
- FTP定期送信の送信間隔が1分よりも短く設定されている場合、FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時に、SDメモリーカードに保存された画像が順番どおりに再生されないことがあります。



（1/3）

項番	項目	内容
①	［画像枚数］	クリックした時間に保存された画像の総枚数と現在表示されている画像の番号が表示されます。 **メモ** ●表示したい画像の番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押すと、指定した番号の画像が画面に表示されます。
②	［再生］ボタン	画像を順番に再生します。
③	［高速再生］ボタン	ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると通常の再生速度に戻ります。
④	［逆再生］ボタン	前の画像へ順番に再生します。
⑤	［高速逆再生］ボタン	ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると通常の再生速度に戻ります。
⑥	［先頭］ボタン	先頭の画像が表示されます。

（2/3）

項番	項目	内容
⑦	［逆コマ送り］ボタン	再生中にボタンを押すと前の画像を表示したあと、一時停止します。一時停止中に押すと、ボタンを押すたびに前の画像が表示されます。 **メモ** ●ボタンを長押しすると、枚数の数値がカウントダウンされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。
⑧	［一時停止］ボタン	再生を一時停止します。一時停止中に押すと再生を再開します。
⑨	［終了］ボタン	再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。
⑩	［コマ送り］ボタン	再生中にボタンを押すと次の画像を表示したあと、一時停止します。一時停止中に押すと、ボタンを押すたびに次の画像が表示されます。 **メモ** ●ボタンを長押しすると、枚数の数値がカウントアップされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。
⑪	［最後］ボタン	最後の画像が表示されます。
⑫	［ダウンロード］ボタン	選択した画像をPCにダウンロードします。PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください（→『設定編』）。 ダウンロードボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。 ダウンロードする画像の対象を選択して［OK］ボタンをクリックします。 全ての画像 現在表示中の画像 画像指定 - ＯＫ　キャンセル 全ての画像　：選択した時間の画像をすべてダウンロードします。 現在表示中の画像：表示中の画像のみをダウンロードします。 画像指定　：画像の番号の範囲を指定してダウンロードします。「画像指定」を選択した場合は、テキストボックスにダウンロードする画像の番号を入力して［OK］ボタンをクリックします。 **メモ** ●ダウンロード中に［キャンセル］ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。［キャンセル］ボタンを押す前にダウンロードされた画像は、PCに保存されます。 ●アラーム発生時と手動保存時に保存する画像の「ファイル名」（→『設定編』）にアルファベットの小文字を設定している場合でも、ダウンロードした画像のファイル名は大文字でPCに保存されます。

（3/3）

項番	項目	内容
⑬	［表示］ボタン	ユーザー認証後、SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。詳しくは、『設定編』をお読みください。

ネットワークセキュリティ

本機に装備しているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能を用意しています。

①ユーザー認証／ホスト認証アクセスの制限（ユーザー管理ページ）
ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、本機にアクセスするユーザーおよびPCを制限します（→『設定編』）。

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限（ネットワークページ）
HTTPポートのポート番号を変更することで、不正アクセスを防止します（→『設定編』）。

重要
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセスを制限するなどの対策を実施してください。

メモ
- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、本機にしばらくアクセスできなくなります。

ヘルプを見る

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面をお読みください。

ヘルプ画面を表示する

●設定画面

1　［設定］ボタンをクリックする

●設定画面を表示します。

下線のある項目をクリックしても、ヘルプ画面がポップアップ表示されます。
ヘルプ画面を表示したまま設定することができます。

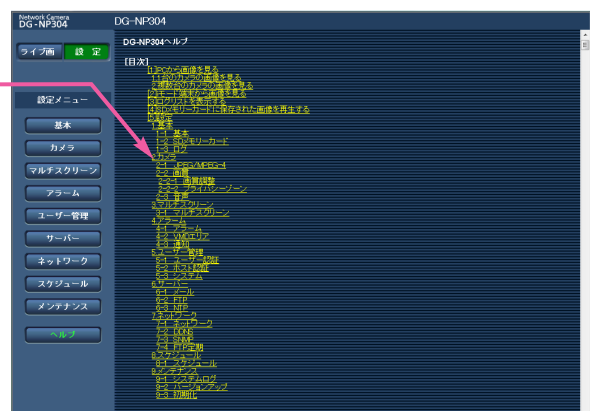


2　［ヘルプ］ボタンをクリックする

●ヘルプ画面を表示します。

知りたい項目をクリックすると、該当する操作の説明を表示します。

●ヘルプ画面



■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル
**0120-878-410**（パナハ　ヨイワ）　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DG-NP304
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　―		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

3TR005469BZB
N0508-1108